



創立 40 周年記念実行委員長挨拶

創立 40 周年記念実行委員長

勢 登 和 秀

40 年を迎えて思う事

中島ロータリークラブ創立 40 年の節目に実行委員長の大役を仰せつかり 2 年前から委員各位と粗相の無い様に手はずを整えて今日に至り、炭谷亮一ガバナーはじめ多数のご来賓と友好・交流クラブの方々や当クラブ会員令夫人をお迎えして兎にも角にも無事に終了できたことは、ひとえに関係各位の暖かいご支援の賜物と感謝いたしております。至らぬ点は多々おありだったかと思いますが、ロータリーの好意と友情の精神でご容赦いただければ幸いと存じます。

さて自身が初めて例会に出席した時の事は 20 年後の今でもはっきりと覚えています。当時は創立 20 周年目でしたが、かなりチャーターンバーも残っていて各氏ともロータリーのメンバーとしての矜持も誇りもしっさんかりとしたものをオーラーのごとく発揮されていきました。そのせいか目の前にいる先輩ロータリアンの顔がとても眩しくて見上げる事が出来なかったことを今もはっきり思い出します。そしてその先輩諸氏がロータリー活動に対して RI 方針に忠実に且つ紳士的に取り組んでおられたのがとても印象的でした。当時は当クラブの草創期から黎明期への移行時とはいえ、今の状態とは雲泥の差程の感覚です。私自身、今思うと、そのような彼らに憧れてロータリーに入ったような気がします。昨今どこのクラブでも会員減少に悩まされていますが、その当時はいちいち会員勧誘をしなくても、私と同じ様な気持ちで入会された方が沢山いたのではないのでしょうか。またこの 20 年間で、特に印象に残ったのは大阪での RI 国際大会に出席できたこと、地区大会で藤原正彦先生や C.W. ニコル氏の講演で目から鱗のお話が聞けたことなどです。そして 100 年以上経っても今尚堂々と罷り通るロータリーの綱領には感服させられます。このようにロータリーの奉仕の精神が変わらない限りロータリアンとして全うしたいと思っています。

今後は、原点回帰してもう一度襟を正し、あらゆることに取り組みながら、私が 20 年前に感じたと同じような先輩になれるよう日々努力して「奉仕の理想」を實踐していきたいと思っています。